

試合番号 : 246	試合会場 : ANCアリーナ (安曇野市総合体育館)	観客数 : 710			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:20	試合時間 : 01:20			
主審 : 浅井 唯由		副審 : 慈眼 雅啓			
VC長野トライデンツ	通算 1勝 29敗 ポイント : 5	18 第1セット 25	JTサンダーズ広島	通算 12勝 16敗 ポイント : 38	22 第2セット 25
監督コメント このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいている全ての皆様へ御礼申し上げます。スタートでサイドアウトを良いテンポで取ることができ、最終後手のゲームになってしまったのが悔しいですが、ブロックディフェンスにおいては機能しておりましたので、フィニッシュの精度を上げて次戦へ挑みたいと思います。本日は応援ありがとうございました。来週も応援よろしくお祈りします。	0	19 第3セット 25	3	監督コメント 2連勝できたことを、会場に来ていただいたファンの皆様、応援していただいた皆様と喜びたいと思います。ありがとうございました。まだ試合は続きます。1試合を全力で戦いますのでご声援よろしくお祈りいたします。	
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 昨日に続き、VC長野トライデンツがANCアリーナにJTサンダーズ広島を迎えての対戦。第1セット、JTはサーブで崩してラリーを制し序盤リードする。JTはエドガー、坂下を中心に攻めるのに対し、VC長野はリヴァン、三輪を中心に攻撃をする。最後までサーブレシーブの乱れがなかったJTが序盤の得点差を維持して25-18で先取した。第2セット、JTはエドガーのサービスエースなどでリードする。VC長野は三輪のサーブで相手を崩して逆転するが、JTはセッター金子がバランスよくトスを振り分け逆転する。その後は一進一退の攻防が続くが、リリーフサーバー西村のサービスエースでセットポイントとし、エドガーのスパイクで決まったJTが25-22でセットを連取した。第3セット、VC長野は森崎、池田(颯)をスタートから起用して挽回を図るが、JTはエドガー、新井のスパイクや金子のサービスエースでリードを広げる。VC長野はリヴァンを中心に三輪、森崎のスパイクで応戦するも点差は縮まらず、最後は安永がブロックを決めたJTが25-19でセットを奪い、セットカウント3-0で勝利した。					

試合番号 : 250	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 1,233			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:17	試合時間 : 01:17			
主審 : 戸川 太輔		副審 : 城 智人			
パナソニックパンサーズ	通算 18勝 10敗 ポイント : 56	25 第1セット 21	東レアローズ	通算 20勝 10敗 ポイント : 61	25 第2セット 17
監督コメント 生き残るための大事な試合で、良い試合ができました。昨日は、緊張していて自分たちのプレーができていなかったが、今日はリラックスしてプレーすることができました。すべてが安定していて、昨日の負けからしっかり切り替えられ勝てたことが嬉しく、選手たちを誇りに思います。初スタメンのラリー選手が活躍し、清水選手と一緒にプレーしている姿が新鮮でした。ご声援ありがとうございました。	3	25 第3セット 16	0	監督コメント 今日の試合も厳しい試合になると思っていたのですが、パナソニックのサーブに崩されて我々の攻撃が単調になってしまい、相手に優位に試合を運ばれてしまいました。今日出た課題を来週の試合で改善できるよう準備したいと思います。コロナ禍の中、たくさんの皆様に会場に足を運んでいただき、ありがとうございました。	
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ファイナル3出場にはもう負けられないパナソニックパンサーズがホームに東レアローズを迎えての一戦は3-0でパナソニックが勝利した。第1セット、東レ・パダルのスパイクで幕を開けると、パナソニックはクビアクのスパイクで取り返し、深津のブロックでリードする。東レは西本、富田のスパイクで逆転したが、パナソニックは山内のサービスエース、エバデンのブロックで再度リードすると大塚がスパイクを決め、その差を広げ始める。対する東レはパダルのスパイク、ブロックで追撃を開始するが、パナソニック・清水、クビアクがしっかりと決めてこのセットを先取した。第2セット、東レは富田にボールを集め、序盤から1点を争う展開になる。それに対しパナソニックはエバデン、清水、大塚と立て続けにスパイクを決め逆転に成功すると、深津、クビアクのブロックを呼び寄せ最後もクビアクが見事にブロックを決め連取する。第3セット、このまま終わるわけにはいかない東レは、第2セットで途中交代したパダルを戻し反撃を開始する。試合の流れを渡したくないパナソニックは、クビアクの巧みなトスを清水が決め序盤からリードする。粘りを見せたい東レはパダルにボールを集め一進一退の展開を繰り広げるが、パナソニック・大塚の連続サービスエース、クビアクの技ありのスパイク、清水、山内のブロックと勝利に執念を見せストレートで東レを打ち破った。					

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :			
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :			
主審 :		副審 :			
通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第1セット	通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第2セット
監督コメント		第3セット	監督コメント		第4セット
		第5セット			第5セット
要約レポート					

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :			
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :			
主審 :		副審 :			
通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第1セット	通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第2セット
監督コメント		第3セット	監督コメント		第4セット
		第5セット			第5セット
要約レポート					